



Cisco IP Phone ハードウェア

- [Cisco IP Phone ハードウェアの概要, 1 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 7811, 2 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 7821, 3 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 7841, 5 ページ](#)
- [Cisco IP Phone 7861, 6 ページ](#)
- [ボタンとハードウェア, 7 ページ](#)
- [用語の違い, 9 ページ](#)

Cisco IP Phone ハードウェアの概要

Cisco IP Phone は、インターネットプロトコル (IP) ネットワーク経由の音声通信を提供します。Cisco IP Phone は、デジタルビジネスフォンとほぼ同様に機能し、電話コールの発受信に加えて、ミュート、保留、転送、スピードダイヤル、コール転送などの機能を使用できます。また、データネットワークに接続するため、IP テレフォニー機能が拡張され、ネットワーク情報やサービス、およびカスタマイズ可能な機能やサービスにアクセスできるようになります。

Cisco IP Phone の機能は次のとおりです。

- プログラム可能なライン キー。最大 16 回線をサポートします (Cisco IP Phone 7821 は 2 回線、Cisco IP Phone 7841 は 4 回線、Cisco IP Phone 7861 は 16 回線をサポートします)。または他の機能用にもプログラムできます。



(注) Cisco IP Phone 7811 は、プログラム可能なライン キーをサポートしていません。

- ギガビットイーサネット接続機能 (これは Cisco IP Phone 7841 だけに該当します。)
- 外部のマイクロフォンおよびスピーカーのサポート。

Cisco IP Phone は、他のネットワークデバイスと同様に設定と管理を行う必要があります。これらの電話機は、G.711 a-law、G.711 mu-law、G.722、G.722.2/AMR-WB、G.729a、G.729ab および iLBC コーデックのエンコード、および G.711 a-law、G.711 mu-law、G.722、G.722.2/AMR-WB、G.729a、G.729ab および iLBC コーデックのデコードをサポートしています。

**注意**

セル方式の電話、携帯電話、GSM 電話、または双方向ラジオを Cisco IP Phone のすぐ近くで使用すると、相互干渉が発生することがあります。詳細については、干渉が発生するデバイスの製造元のマニュアルを参照してください。

Cisco IP Phone は、コール転送や転送、リダイヤル、スピードダイヤル、会議コール、ボイスメッセージングシステムへのアクセスなど、従来のテレフォニー機能を提供します。Cisco Unified IP Phone では、さらにその他の各種の機能も提供します。

Cisco IP Phone は、他のネットワークデバイスと同様に、サードパーティコール制御システムおよび IP ネットワークの他の部分にアクセスできるように設定する必要があります。DHCP を使用すると、電話機上で設定する内容が少なくなります。ただし、ネットワークで必要な場合は、IP アドレス、TFTP サーバ、サブネット情報などの情報を手動で設定できます。

Cisco Unified IP Phone は、IP ネットワーク上の他のサービスやデバイスと連携することで、高度な機能を提供できます。たとえば、サードパーティコール制御を社内の Lightweight Directory Access Protocol 3 (LDAP3) 標準ディレクトリと統合すると、ユーザが同僚の連絡先情報を IP Phone で直接検索できるようになります。XML を使用すると、天気予報、株価情報、商品相場などの Web ベースの情報にユーザがアクセスできるようになります。

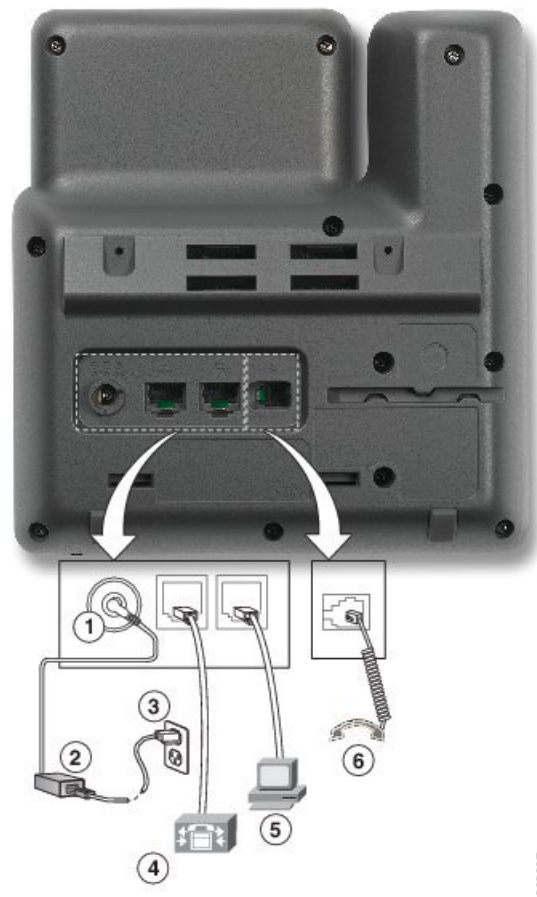
さらに、Cisco Unified IP Phone はネットワークデバイスであるため、詳細なステータス情報を IP Phone から直接取得することができます。この情報は、ユーザが IP Phone を使用しているときに生じた問題をトラブルシューティングするのに役立ちます。また、現在のコールに関する統計情報や、ファームウェアのバージョンも電話機で取得できます。

Cisco IP Phone を IP テレフォニー ネットワークで機能させるには、IP Phone を Cisco Catalyst スイッチなどのネットワーク デバイスに接続する必要があります。また、コールを送受信する前に、Cisco IP Phone をサードパーティコール制御システムに登録する必要があります。

Cisco IP Phone 7811

電話機の接続

イーサネット ケーブルを使って電話機を LAN に接続することにより、電話機の全機能が使用可能になります。イーサネット ポートに Power over Ethernet (PoE) が付属している場合は、LAN ポートを介して電話機に電力を供給できます。建物の外側に LAN イーサネット ケーブルを延長しないでください。電話機を動作させるには、電話機が IP テレフォニー ネットワークに接続されている必要があります。



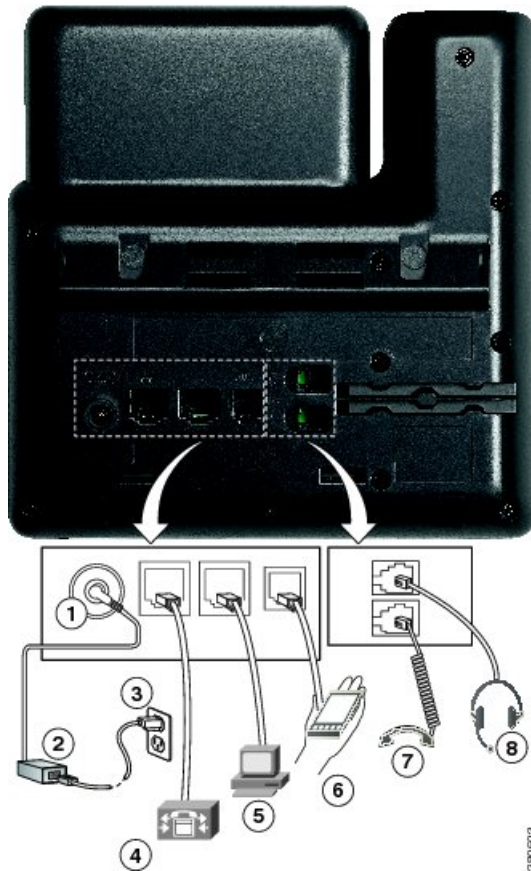
1	DCアダプタポート (DC 48V)	4	ネットワークポート (10/100 SW) 接続。IEEE 802.3af 電源対応
2	AC-DC 電源装置 (任意)	5	アクセスポート (10/100 PC) 接続 (オプション)
3	AC 電源コンセント (任意)	6	ハンドセットの接続

Cisco IP Phone 7821

電話機の接続

イーサネットケーブルを使用して Cisco IP Phone を LAN に接続すると、Cisco IP Phone の全機能を使用できるようになります。イーサネットポートに Power over Ethernet (PoE) が付属している場合は、LAN ポートを介して Cisco IP Phone に電力を供給できます。建物の外側に LAN イーサ

ネットケーブルを延長しないでください。電話機を動作させるには、電話機が IP テレフォニーネットワークに接続されている必要があります。

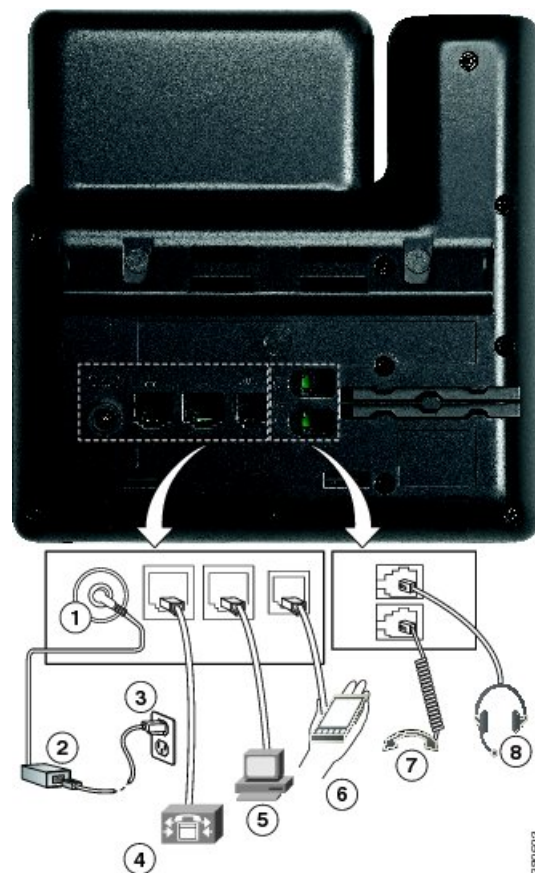


1	DC アダプタ ポート (DC48V) (オプション)	5	アクセスポート (10/100 PC) 接続 (オプション)
2	AC-DC 電源装置 (任意)	6	補助ポート (オプション)
3	AC 電源コンセント (任意)	7	ハンドセットの接続
4	ネットワークポート (10/100 SW) 接続。 IEEE 802.3af 電源対応	8	アナログヘッドセット接続 (任意)

Cisco IP Phone 7841

電話機の接続

イーサネットケーブルを使用して Cisco IP Phone を LAN に接続すると、Cisco IP Phone の全機能を使用できるようになります。イーサネットポートに Power over Ethernet (PoE) が付属している場合は、LAN ポートを通じて Cisco IP Phone に電力を供給できます。建物の外側に LAN イーサネットケーブルを延長しないでください。電話機を動作させるには、電話機が IP テレフォニーネットワークに接続されている必要があります。



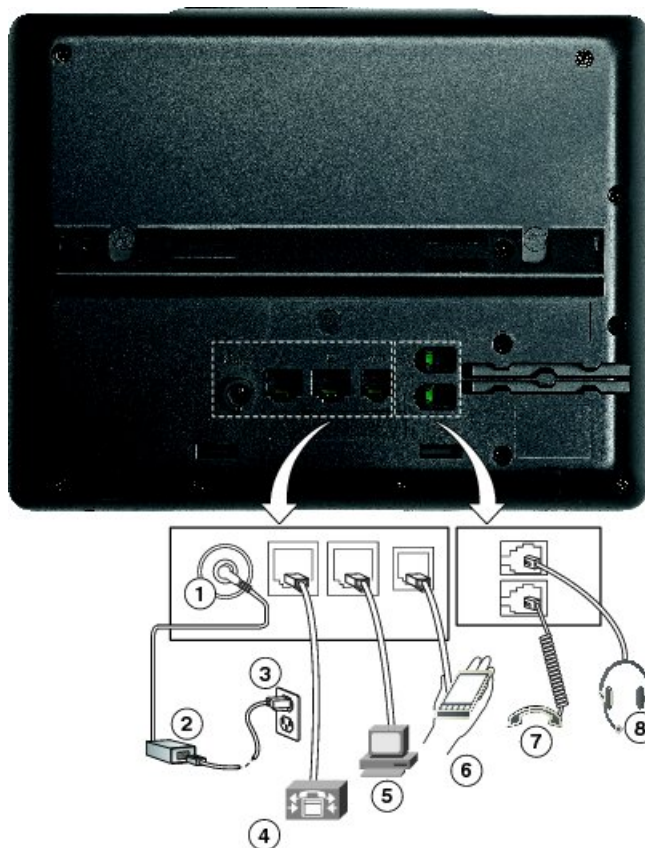
1	DC アダプタ ポート (DC48V) (オプション)	5	アクセスポート (10/100/1000 PC) 接続 (オプション)
2	AC-DC 電源装置 (任意)	6	補助ポート (オプション)
3	AC 電源コンセント (任意)	7	ハンドセットの接続

4	ネットワークポート (10/100/1000 SW) 接続。IEEE 802.3af 電源対応	8	アナログヘッドセット接続 (任意)
---	---	---	-------------------

Cisco IP Phone 7861

電話機の接続

イーサネットケーブルを使用して Cisco IP Phone を LAN に接続すると、Cisco IP Phone の全機能を使用できるようになります。イーサネットポートに Power over Ethernet (PoE) が付属している場合は、LAN ポートを介して Cisco IP Phone に電力を供給できます。建物の外側に LAN イーサネットケーブルを延長しないでください。電話機を動作させるには、電話機が IP テレフォニーネットワークに接続されている必要があります。



1	DC アダプタポート (DC48V) (オプション)	5	アクセスポート (10/100 PC) 接続 (オプション)
---	----------------------------	---	--------------------------------

2	AC-DC 電源装置 (任意)	6	補助ポート (オプション)
3	AC 電源コンセント (任意)	7	ハンドセットの接続
4	ネットワーク ポート (10/100 SW) 接続。 IEEE 802.3af 電源対応	8	アナログ ヘッドセット接続 (任意)

ボタンとハードウェア



Cisco IP Phone 7800 シリーズには、さまざまなハードウェア タイプがあります。


- Cisco IP Phone 7811：画面の両側にボタンなし
- Cisco IP Phone 7821：画面の左側に 2 つのボタン
- Cisco IP Phone 7841：画面の両側に 2 つのボタン
- Cisco IP Phone 7861：画面の右側に 16 個のボタン

次の図に、Cisco IP Phone 7841 を示します。

図 1：Cisco IP Phone 7800 シリーズのボタンと機能



1	ハンドセット、およびライトストリップ付きハンドセット	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）があるかどうかを示します。
2	プログラム可能な機能ボタンと回線ボタン	 : 電話回線、機能、およびコールセッションにアクセスします。 Cisco IP Phone 7811 にはプログラム可能な機能ボタンや回線ボタンがありません。
3	ソフトキー ボタン	 : 機能とサービスにアクセスします。
4	ナビゲーション クラスタ	ナビゲーション リングと選択  ボタン : メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したり、強調表示されている項目を選択したりします。
5	[保留/再開 (Hold/Resume)]、[会議 (Conference)]、および[転送 (Transfer)]	[保留/再開 (Hold/Resume)]  : アクティブコールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。 [会議 (Conference)]  : 会議コールを開始します。 [転送 (Transfer)]  : コールを転送します。
6	[スピーカフォン (Speakerphone)]、[ミュート (Mute)]、および[ヘッドセット (Headset)]	[スピーカフォン (Speakerphone)]  : スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。 [ミュート (Mute)]  : マイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。 [ヘッドセット (Headset)]  : ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。 Cisco IP Phone 7811 には[ヘッドセット (Headset)] ボタンがありません。
7	[連絡先 (Contacts)]、[アプリケーション (Applications)]、および[メッセージ (Messages)]	[連絡先 (Contacts)]  : パーソナルディレクトリと社内ディレクトリにアクセスします。 [アプリケーション (Applications)]  : 通話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、および電話機のモデル情報にアクセスします。 [メッセージ (Messages)]  : ボイスメッセージングシステムに自動ダイヤルします。

8	[音量 (Volume)] ボタン :	 <p>ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの音量（オフフック）と呼出音の音量（オンフック）を調整します。</p>
---	----------------------	--

用語の違い

次の表に、『Cisco IP Phone 7800 Series for Third-Party Call Control User Guide』および『サードパーティ コール制御向け Cisco IP Phone 7800 シリーズ アドミニストレーション ガイド』の間に見られる用語の違いについて示します。

表 1: 用語の違い

ユーザ ガイド	アドミニストレーション ガイド
メッセージ インジケータ	メッセージ受信インジケータ (MWI) またはメッセージ受信ランプ
ボイスメール システム	ボイス メッセージ システム

